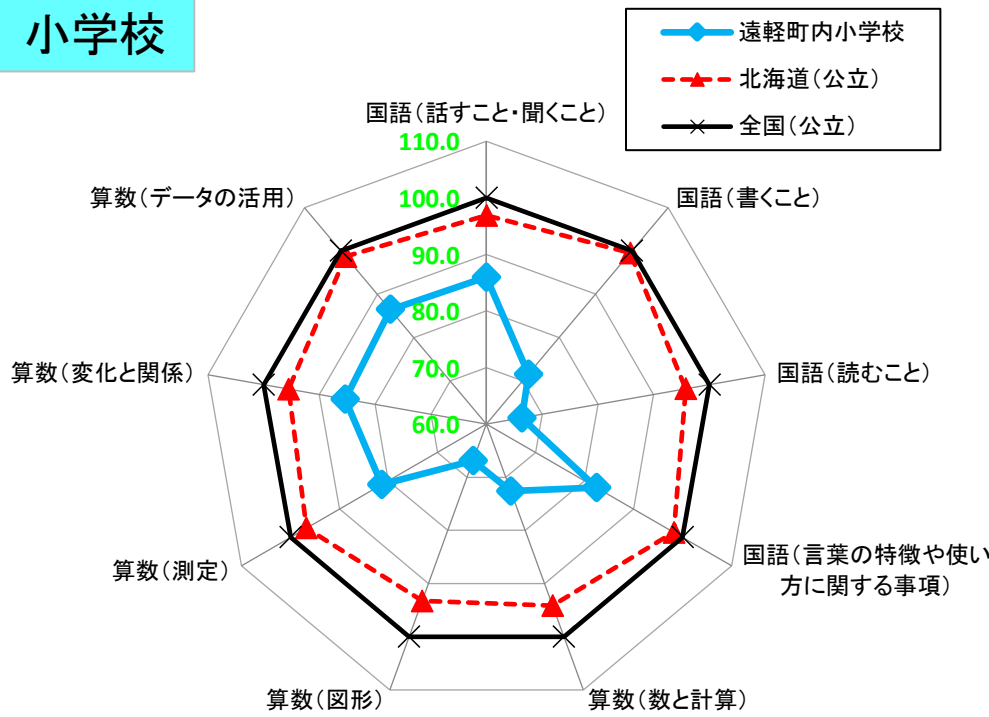


■遠軽町内の状況及び学力向上策（小学校数：8校、児童数：144人）（中学校数：7校、生徒数：128人）

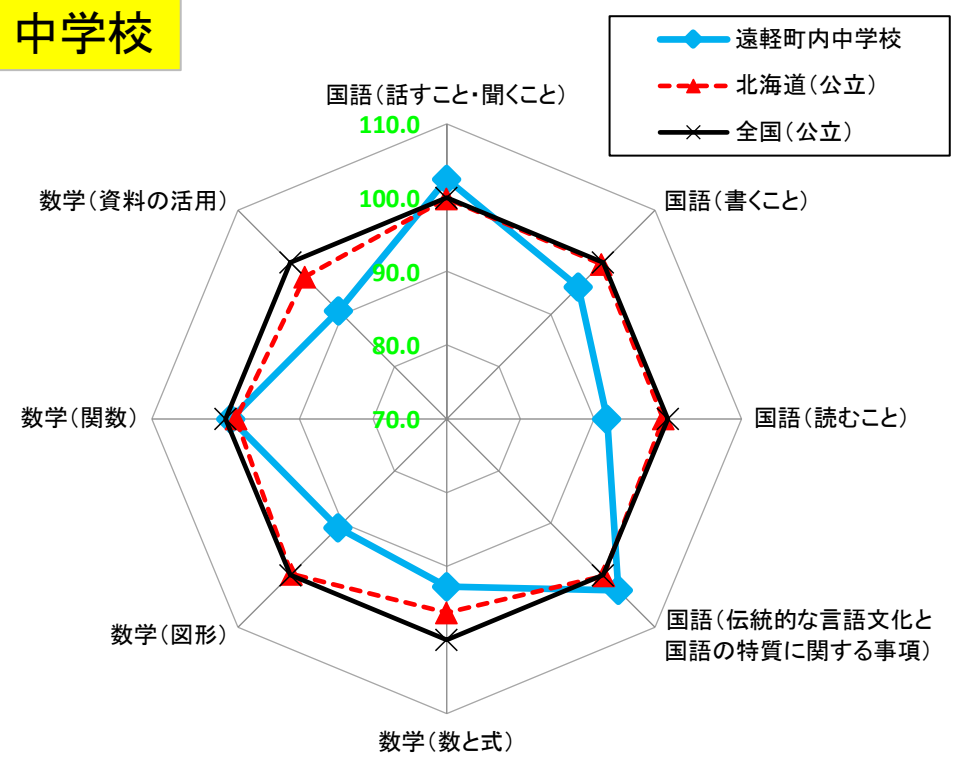
【教科全体の状況】

教科の領域等別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 （市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

小学校

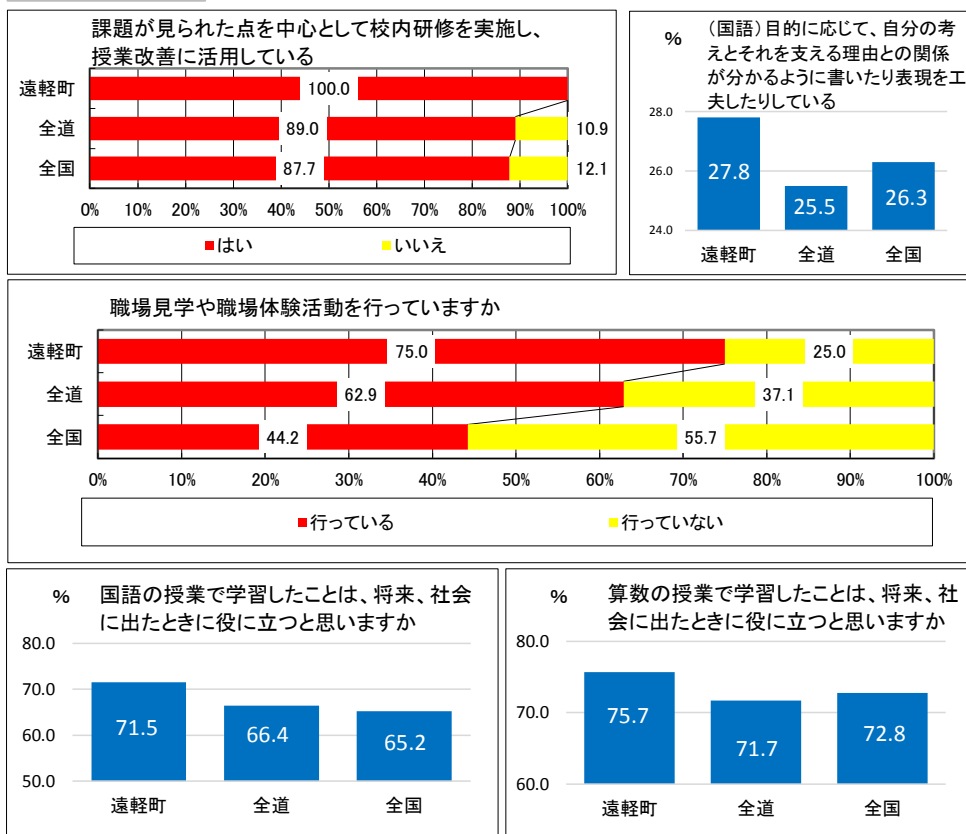


中学校

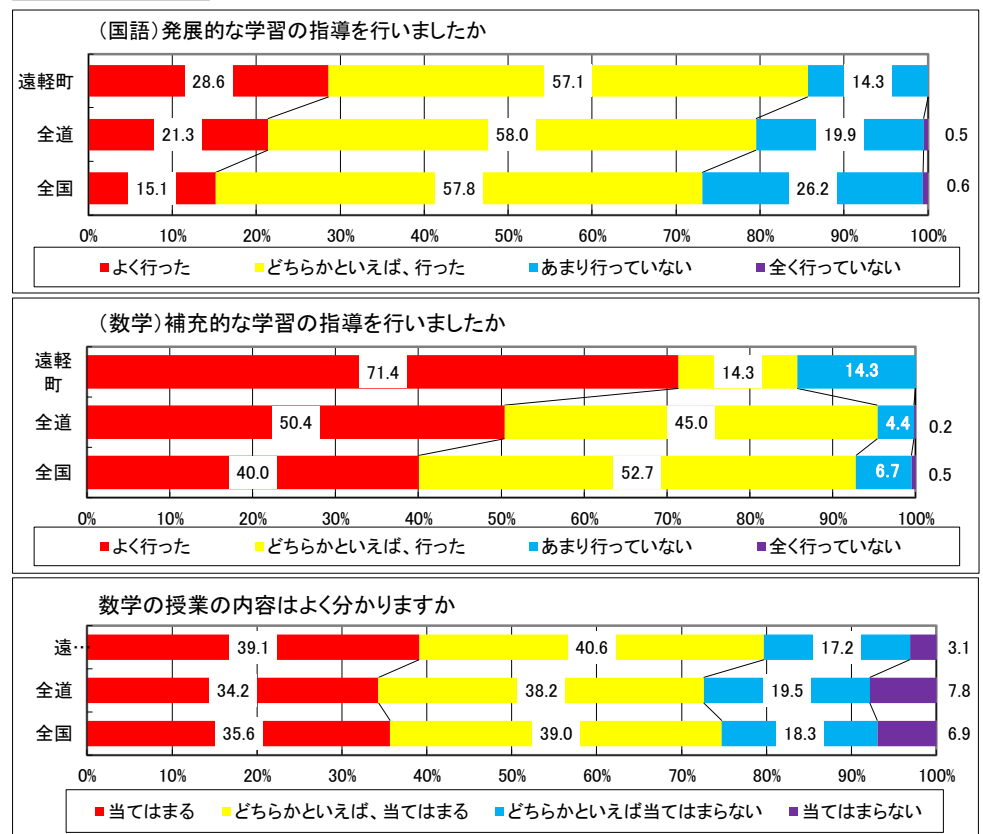


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

全国学力・学習状況調査において、課題が見られた点を中心として校内研修を実施し、授業改善に活用することにより、国語では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫したりしていると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

職場見学や職場体験活動を行う指導により、実態を伴った理解が図られるとともに、有用感が高まり、国語や算数において、授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

国語の授業では、発展的な学習の指導を行ったことにより、生徒の学習意欲が向上し、国語では、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国平均正答率を上回ったと考えられる。

数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行うことにより、数学の授業の内容はよく分かったと回答する生徒の割合が全国及び全道を上回るとともに、数学では、「関数」で、全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 未来に誇れる文化や自然遺産、人材などの教育資源の活用
- ◎ 確かな学力の育成・定着を図るための教育用ICT機器の整備
- ◎ 外国語活動における言語や文化に対する理解を深めるための英語指導助手の配置